

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j40212	造形表現指導法	木俣 創志	1年次・後期	演習・1単位	幼免必修 保育士選択必修

授業の概要 / Course Outline
何より造形制作を楽しみ、それを通して感受性・創造性を養い、保育者として必要な造形制作の基礎技術と教養を学ぶ。マーブリング、セルフポートレイト、メッセージカード、葉、折り紙などの制作実習を楽しむ。子どもを対象とするワークショップ、美術教室、公開講座等の実務経験を踏まえた内容であるが、子どもにとって(さらに広く人間にとって)造形行為の持つ意味を、制作体験での試行錯誤から十分に味わいたい。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
本授業では「つくること・かくこと」を心から好きと思える感性を養うことが到達目標。結果として、美しい配色ができ、独創性に興味を持つことができ、子どもに適した造形テーマやアート鑑賞の手段・方法を知ることができ、造形素材の特徴と使用方法に熟達できる、などがついてくる。	A-② D-①

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	20%	予め出題した課題を描く作品制作の試験。
レポート試験 Report Examination	10%	教科書を読み、感想をまとめる。
実技試験 Practical skill test	30%	提出作品による作品評価。
平常点評価 Continuous Assessment	40%	制作姿勢および準備や後片付け等、授業への取り組み。

教科書 / Textbooks
村田夕紀・内本久美 著 『2・3・4・5歳児の技法あそび 実践ライブ』 ひかりのくに 2015年

参考書 / Reference Books
樋口一成 編著 『幼児造形の基礎』 萌文書林 2018年

予習・復習 / Preparation・Review
必要に応じて、百円ショップ等の雑貨店、画材店で、個人により異なる材料を調べ準備する。造形の授業では、学生が真摯に取り組めば取り組むほど、作品、制作ペース、予習復習に費やす時間など、すべてにわたって多様となり、各自異なった結果となる。したがって授業計画の[準備]時間は各20分とするが、あくまでも目安である。また、制作状況に応じ授業計画は若干変更することができる。

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
課題作品・レポート・試験回答提出後の授業内で適宜解説する。

その他 / Others
とにかく「やってみよう」と思う学生に集まって欲しい。造形制作の授業は、いわゆる美術の得意な人、不得意な人、作業の速い人、遅い人…等、様々である。そんな多様性に富む参加者がそれぞれが、お互いの個性を尊重し合いながら作品に取り組んでもらえればと思う。「こんなアイデアを出したら叱られそう…」と考える必要はない。モットーは「上手い下手にとらわれず、楽しくやろう！」である。